關高 うえだ

第107号
2024年
（令和６年）
１月１日
（月曜日）

上田高等学校関東同窓会会報　題字は故稲垣征夫氏（14 期）

＝発行＝
上田高等学校関東同窓会
発行人 / 会　長　矢島基美（72 期）
編集人 / 編集長　中村和久（75 期）
事務局 / 幹事長　平林一央（75 期）
〒 103-0027 東京都中央区
日本橋 3-2-14 日本橋 KNビル４F
Tel 03-5201-3979　Fax03-5201-3712

１月 20 日（土）　新年会で新たな力を！

♬神秘的で優雅な音色 小林公哉さん（115期）のビブラフォン演奏♬

関東同窓会では１月20日（土）に東京都千代田区一ツ橋の日本教育会館・喜山倶楽部で新年会を開催します。今回の演奏会は、さまざまなオーケストラで打楽器奏者として活躍している115期の小林公哉さんが、ビブラフォンとスネアドラムを奏でます。

小林さんは、使用楽器について「ビブラフォンという鍵盤打楽器を中心に演奏をさせていただきます。金属で作られた音板に、ファンの風が当たることによって、音が振動（ビブラート）することが特徴的です。神秘的で優雅な音色をお楽しみください」と説明、「この度は演奏の機会をいただき、大変嬉しく思います。皆様に楽しんでいただけますよう、バラエティーに富んだプログラムをご用意いたします。新年会にて皆様にお会いできますことを、楽しみにしております。どうぞ足をお運びくださいませ」と意気込んでいます。

伴奏のピアノは桐朋学園大学大学院音楽研究科音楽専攻修士課程修了、山口静夏さんです。新しい年に当たり、私たちに新たな力を届けてくださるような演奏となるでしょう。

演奏会の後の懇親会はコロナ禍から明け、４年ぶりに立食形式を予定しています。

【プロフィル】
1. 高校卒業年　２０１７年
2. 卒業大学　東京藝術大学
3. 出身地　上田市真田町傍陽
4. 出身中学　上田市立真田中学校
5. 高校時代所属班　吹奏楽班
6. 演奏する楽器との出会いから現在

小学校の金管バンドにて、９歳より打楽器を始める。東京藝術大学卒業、同大学院修士課程に在学中。打楽器を荻原松美、佐藤美和、杉山智恵子、藤本隆文の各氏に師事。第１回サントミューゼ新進演奏家リサイタルオーディションにて優秀賞を受賞。第38回打楽器新人演奏会にて最優秀賞と審査員特別賞（第２位）を受賞。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、名古屋フィルハーモニー交響楽団、富士山静岡交響楽団、群馬交響楽団、パシフィックフィルハーモニア東京などのオーケストラに打楽器奏者として賛助出演。Ｕ演奏家協会会員。

2024年 新年会

【日時】　2024年１月20日（土）
15：00　受け付け開始
15：30～18：30　演奏会、懇親会

【会場】　東京都千代田区一ツ橋２-６-２
日本教育会館９階　喜山倶楽部

【会費】　6,000円（100期以降は4,000円）、学生無料

【交通】　地下鉄三田線・新宿線・半蔵門線
神保町駅 A1・A8・A9 出口 徒歩３分
地下鉄東西線竹橋駅 1B 出口 徒歩４分

年会費の納付をお願いします

幹事長　平林一央（75 期）

会報１０７号が出来上がりました。24ページ、フルカラー、じっくりお楽しみください。

この会報発行を含めて関東同窓会の活動は、会報をご覧になっている会員の皆様からの年会費で支えられていることは言うまでもありません。

会報発行は支出が大きい活動の一つですが、昨今の物価高騰で、印刷、製本、送付など、発行に関わるほとんどの分野で値上げが発生し、更なる費用増加を招いております。

一方で、皆様からの年会費納付は、残念ながら、まだまだ少ないのが現状です。

会報は年会費の納付に関わらず、会員の皆様へお配りしており、その数は５,０００部を超えています。会報をご覧になっていて年会費未納の会員の皆様、ぜひ、年会費の納付をお願いいたします。

会費納付は同封の振込用紙、または銀行振込でお願いして参りましたが、郵便局に出向くのが大変であるとのご意見にお応えして、専用のホームページからクレジットカードでの納付も可能になりました。ぜひ、ご利用ください。（関東同窓会ホームページのご案内バナー「年会費等のクレジットカード納入」をクリックいただいて手続きできます）

関東同窓会のホームページ　http://uedakant.sakura.ne.jp

新たな時代に向けた新たな同窓会活動の取り組み

関東同窓会会長　矢島基美（72期）

第62回総会で挨拶する矢島会長

皆様におかれましては、清新な思いを胸に、新たな年をお迎えのことと拝察申し上げます。

それにしても、寄る年波のせいか、日月の過ぎゆく速さに驚かされます。まさに、人生は長く、しかし、一炊の夢のごときものなのかもしれません。

そこまで巨視的に捉えれば、物事はすべて、さほどのものとは思えなくなります。それでも、日本社会が迎えようとしている未曽有の人口減少化は格別です。先般も、2040年の人口推計が公表され、たとえば18歳人口は約88万人になると報じられたところです。それは高等教育機関の経営を直撃するのみならず、労働力人口の大幅な減少をもたらし、特に人口減が顕著な地方にあっては、地域社会そのものの存続を危うくすることにつながるはずです。

同窓会の組織や活動もまた、その例外ではありません。会員が高齢化する一方で、新規会員数が右肩下がりになるからです。そのうえ、価値観が多様化するなか、同窓であることの意義も薄らぎつつあるようです。かりに集まりをもったとしても、同級会またはごく親しい友人たちによるか、課外活動のOB・OG会の単位にとどまっているのではないでしょうか。それだけに、今後の同窓会のあり方に少なからぬ懸念を覚えます。

関東同窓会は、すでにご承知のとおり、昨年6月、役員が交代しましたが、私ども新役員が揃って意を砕き、取り組もうとする活動もそこに目が向けられています。すなわち、会則に掲げる2つの目的、「会員相互の親睦」を図ること、および、「母校の発展に寄与すること」（第2条）を意識しつつ、新規会員（特に若手および女性会員）の確保を重点化項目としたのです。

そして、それを少しでも実現するため、これまでの委員会組織をいくらか改めることにしました。その新たな委員会体制のもと、多様な会員の意向やニーズを探りつつ、従来のイベントに工夫を加えたり、新たな企画を用意したりできればと念じています。たとえば総会や新年会でさえ、同期もしくは同級が集まる貴重な場として活用することも考えられます。また、会員に対する情報提供においても、インターネットを最大限に活用することで、より使いやすく、有益かつタイムリーな情報に接することができるよう検討していきます。さらに、各班の関東OB・OG会、「松尾倶楽部」ほかの各種団体とのつながりをもち、関東同窓会の会員がそれぞれに同窓会活動にかかわる機会を増やせるようにしたいと思っています。

実は、こうした取り組みは、同窓会の活動を支える財源の確保、ひいては財政の健全化にも資するはずです。やはり、数は力なり。会員の裾野を広げ、そのつながりを強めていくことで、年会費のより多くの納入が期待できるからです。もちろん、その一方で、支出の見直しを通じて、経費の節減を図っていくつもりです。

引き続き、皆様のご理解とご協力のほど、切にお願い申し上げます。

第62回総会　コロナ禍以前の形式

関東同窓会は2023年6月24日（土）、東京都千代田区一ツ橋の如水会館で第62回総会を開催した。ようやく4年ぶりにコロナ禍以前の形式（講演会、総会、アトラクション、立食形式の懇親会）で行うことができた（講演会と総会はリモート視聴可）。実行委員長は75期の一之瀬康利さん、出席者は189人（内リモート13人）だった。

ご来賓として母校の宮下美和校長（84期）、同窓会本部の金子元昭理事長（68期）、藤井哲也理事（87期）、関西同窓会の荻原靖会長（74期）、中南信支部の小池健一支部長（67期）にご参列いただいた。

総会の様子

★第1部　講演会

定刻の12時に司会の丸山誓さん（75期）の紹介で講師の金吉晴さん（75期　国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所長）が登壇、「心のトラウマの理解と治療」の演題で講演が行われた。ご自身の経歴を交えながら、トラウマとPTSD（心的外傷後ストレス障害）をわかりやすく説明してくださり、それらからの回復についての研究を紹介していただいた。「心の健康とは何か」について考える契機となる講演であった。

★第2部　総会

10分間の休憩を挟んで、同じく丸山誓さん（75期）の司会で、総

総会で議案の承認

会が開会した。近藤正昭会長（69期）の挨拶に続いて、ご来賓のご紹介を行い、同窓会本部の金子理事長からご挨拶をいただいた。会則に基づき大工原潤さん（75期）が議長に選出され、議事が進行した。例年の第1号議案「2022年度会務報告」、第2号議案「2022年度決算報告」、第3号議案「2022年度監査報告」、第4号議案「年度会務計画」、第5号議案「2023年度予算」に加えて、第6号議案「会則改定」、第7号議案「新役員選出」、第8号議案「相談役の推挙と顧問の委嘱」と多くの議案の審議・採決を行ったが、事前の幹事会で重ねて討議した結果なのか、質問は少数にとどまり、全議案が承認された。

講演する金吉晴さん

★第3部　アトラクション「吹奏楽班の演奏会」

副実行委員長の五十嵐剛さん（80期）の司会により、上田高等学校吹奏楽班の演奏会が開幕した。総勢43人の大編成による2014年以来9年ぶりの関東同窓会総会での演奏であった。「星条旗よ永遠なれ」「上田高等学校校歌」「ポロネーズとアリア―吹奏楽のために」「鯨と海」「スター・パズル・マーチ」「アルヴァマー序曲」「レトロ」「ジョン・ウィリアムズ・スイング」「宝島」「OMENS OF LOVE」と、校歌を2曲目に配置し、異なったジャンルを織り交ぜたプログラムであった。演奏者との距離が近く、迫力ある演奏に圧倒され、また繊細な表現に酔いしれた時間だった。会員からは素晴らしい演奏に対して惜しみない拍手が送り続けられた。

吹奏楽班の演奏

★第4部　懇親会

懇親会の司会は五十嵐さんに長谷川剛さん（80期）が加わった。実行委員長の一之瀬さんの開会の辞に続いて宮下校長よりご挨拶をいただいた。関西同窓会の荻原さんからご挨拶と待ちに待った乾杯のご発声があり、4年ぶりの立食形式の懇親会が始まった。参加者は期ごとのテーブルに集まり、料理や飲み物を楽しみながら和やかに歓談した。マスクなしで席の移動、お酌も可能になり、楽しい交流の時間が流れた。宴もたけなわ、高田忍さん（69期、上田市議）の音頭で、久しぶりの出席者全員による校歌斉唱が行われ、会場は大いに盛り上がった。終了時間も近づき、来年度の総会実行委員を代表して鴇澤省一さん（76期）の来年度総会成功への決意表明があり、五十嵐さんの閉会の辞により、講演から5時間に及んだ第62回総会が無事終了した。

立食形式の懇親会

吹奏楽班の演奏に聴き入る同窓生の皆さん

アクト法律事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂３丁目９番18号
赤坂見附KITAYAMAビル３階
TEL：０３－５５７０－５６７１（代表）
FAX：０３－５５７０－５６７４
【最寄りの交通機関】
地下鉄銀座線・丸ノ内線 赤坂見附駅下車徒歩１分

弁護士（所長）　岩井　重一（62期）
弁護士　安田　隆彦
弁護士　平澤　慎一
弁護士　波戸岡光太
社会保険労務士　岩井　信也